

環人会ツアーvol2

「大阪くねくねツアー」

4月13日(日)、桜も終盤のころ、大阪谷町界隈で活躍されている人たちを、くねくね訪ね歩きました。

参加者は14名。都市における地域再生の事例を通して、地方においてのヒントを探りました。

アイエスビル訪問

まず、最初に天満橋丘のアイエスビルを訪問しました。ここは、近江環人・笠原の設計事務所があるビルです。築33年、昭和の香りを活かしながらSOHOと呼ばれるような小さなオフィスの集まりとして昨年リノベーションされました。共用で使えるルーフテラスやライブラリーがあり、気持ちよく仕事ができるオフィスです。このように付加価値をつけて魅力的な建物にするアイデアは、古民家や町家の再生でも活かせそうです。



アイエスビルのルーフテラス

谷町空庭訪問



ビルに囲まれた空畑

「都市における里山生活」や、「農のある暮らし」を提案している、谷町空庭(たにまちそらにわ)の山内美陽子さんを訪ねました。山内さんいわく「里山とは、人と自然とがフラットな関係を築くこと。これは都会でもできるはず。」

自宅ビルの屋上に気持ちの良い庭や畑を作り、住まいの一部をカフェやイベントスペースとして解放されています。

最近「農」に力を入れ、都会のベランダや屋上などで気軽に畑を作り「農のある暮らし」を実践する「空畑(そらはた)クラブ」をスタート。楽しみながら土にふれる暮らしを応援し、都市と農村とをつなぐネットワークづくりを進めています。

空堀界限散策

戦災を免れた戦前の長屋が多く残る空堀界限を散策しました。案内人は空堀在住の内田理恵子さん。内田さんの事務所・自宅も戦前の建物活かしてうまく改修されています。

地元の人でないと勇気がいるようなディープな路地裏に突入したり、長屋を拠点に活動している劇団に乱入したり、ハラハラドキドキする散策でした。

「からほり倶楽部」の六波羅雅一さんが再生を手がけられた複合ショップ、「崩(ほう)・練(れん)・惣(そう)」を見学し、六波羅さんと合流しました。



長屋再生複合ショップ「惣」

六波羅さんのお話・懇親会

「からほり倶楽部」で取り組まれている長屋再生のお話を伺いました。

所有者から長屋を借り受けて建物を改修し、それをいくつかの店舗にサブリースして収益をあげて運営する仕組みを話されましたが、リスクを負ってまでやり遂げる六波羅さんの情熱に、参加者から称賛の声が溢りました。

テナントを入れての収益事業は、都会では成功しても田舎では難しいのでは・・・という参加者の感想が溢りましたが、地価の高い都会では、収益を上げざるを得ないという事情もあります。逆に田舎では、そんなに収益を上げなくても経済的に成り立つはずですので、地域の状況に即したやり方を考える必要があります。



お屋敷再生複合施設「練」にてお話と懇親会

最後に・・・

今回大阪で活躍されている様々な人たちの話を聞きましたが、やっぱりスゴイのは、みんな自分達の思いを実現するために仲間を集めて勝手にやり始めていることです。別に行政がお膳立てしたわけでもなく、補助金が出るからやってる訳ではありません。大阪にはこんな風に勝手に仲間を集めて活動している人達が他にもわんさかいます。このエネルギーが、都市の問題解決・地域再生の原動力になっていると感じます。

滋賀県は、歴史的・文化的資産や自然環境などをとっても大阪にひけをとらない素晴らしい資源があります。あとは、それを積極的に活かす人材です。

私たち近江環人がその役目を果たすべく努力していきたいと思えます。